

南アメリカ・オセアニア 州

名前

問1 南アメリカ州のブラジルでは、世界的な需要の高まりに応えるために畜産業が盛んに行われていますが、これに伴う環境への影響が議論されています。生産されている家畜と、それに関連して発生している課題の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2023年 群馬県公立入試 類似)

1. ヤギ：高地での飼育に伴う土壌浸食の発生	2. 羊：乾燥地での過放牧による砂漠化の進行	3. 豚：冷涼な気候に適応させるための森林の伐採	4. 牛：放牧地の確保を目的とした熱帯林の伐採
------------------------	------------------------	--------------------------	-------------------------

問2 アンデス山脈の高地で見られる、地形や気候の特色を生かした人々の暮らしや産業に関する説明として、最も適切なものを次の中から選びなさい。 (2023年 沖縄県公立入試 類似)

1. 広大な平坦地を利用して、大型機械を用いた大規模な小麦の企業的穀物農業が盛んに行われている。	2. 乾燥した砂漠地帯が広がるため、地下水路を利用したオアシス農業によってナツメヤシが生産されている。	3. 標高による気温の変化を利用し、高地ではジャガイモの栽培、家畜としてリャマやアルパカの飼育が行われている。	4. 年間を通じて温暖で降水量が多く、斜面を利用した大規模な水田稲作が主要な産業となっている。
--	---	---	---

問3 南アメリカのブラジルとオセアニアのオーストラリアに共通する、資源と産業の関わりについて述べた文として正しいものを次の中から選びなさい。 (2015年 鹿児島県公立入試 類似)

1. 世界最大の原油産出量を誇り、石油化学工業が国の経済を支える最大の産業となっている。	2. どちらの国も熱帯雨林における焼畑農業が産業の中心となっており、資源輸出はわずかである。	3. 世界的な鉄鉱石の産出国であり、重工業を支える原料の供給地として重要な役割を果たしている。	4. イギリスからの移民によって開拓された歴史を持ち、国土の全域に人口が均等に分布している。
--	--	---	--

問4 農業の効率を示す指標のうち、技術革新や農法の改善によって農地一ヘクタールあたりの収穫量を高めることを指す言葉として正しいものを選びなさい。 (2016年 三重県公立入試 類似)

1. 食料自給率の向上	2. 耕地利用率の向上	3. 土地生産性の向上	4. 労働生産性の向上
-------------	-------------	-------------	-------------

問5 オーストラリアから日本への輸入品目に関する説明として、統計上の特徴を正しく述べているものはどれですか。2016年の輸入額データでは、上位3位までを鉱物・エネルギー資源が占め、第4位には農畜産物、第5位には別の鉱物資源が入っています。 (2018年 福島県公立入試 類似)

1. 第4位には肉類が入っており、広大な土地を活用した大規模な畜産業による産品が重要な輸入項目となっている。	2. 第5位にはカナダからの輸入が中心である小麦が入っており、南半球との季節の違いを利用した輸入が行われている。	3. 第4位には中国から輸入されることが多い衣類が入っており、オーストラリアの安価な労働力を背景としている。	4. 第5位には銅鉱が入っているが、これはオーストラリアにおいて鉄鉱石よりも産出額が多いためである。
--	--	--	--

問6 ブラジルにおける1990年以降の統計において、森林面積が減少傾向にある一方で生産量が著しく伸びている農作物と、それに関連して発生している環境問題の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2024年 奈良県公立入試 類似)

1. 作物は小麦であり、過度な灌漑によって農地の塩類集積が進んでいる。	2. 作物は大豆であり、農地開発を目的とした森林伐採により生態系が破壊されている。	3. 作物はコーヒーであり、プランテーションの拡大により砂漠化が進行している。	4. 作物は綿花であり、農薬の大量散布によって土壌汚染が深刻化している。
-------------------------------------	---	---	--------------------------------------

問7 20世紀前半のオーストラリアにおけるイギリスとの関係や経済状況を説明した文として、当時の国際情勢をふまえた正しい記述を選びなさい。 (2017年 静岡県公立入試 類似)

1. イギリスから完全に政治的・軍事的に独立し、アメリカ合衆国と対等な軍事同盟を優先していた。	2. アジア・太平洋地域における経済的自立を目指し、イギリスとの貿易を全面的に停止していた。	3. 国際連盟の指導の下、特定の国と排他的な経済圏を作らず、世界中との自由貿易を推進していた。	4. イギリスを本国とするブロック経済に組み込まれ、経済的に密接な主従関係にあった。
---	--	---	--

問8 日本への輸出額のうち、液化天然ガスが約35パーセント、石炭が約14パーセント、鉄鉱石が約12パーセントと、エネルギー資源や鉱物資源が上位を占めている国はどこですか。なお、この国からは牛肉などの肉類も輸出されており、輸出額全体の約6パーセントを占めています。 (2026年 栃木県公立入試 類似)

1. アラブ首長国連邦	2. ブラジル	3. インドネシア	4. オーストラリア
-------------	---------	-----------	------------

問9 オーストラリアは、かつて白人優先の白豪主義をとっていましたが、1970年代以降にこれを撤廃し、どのような社会を目指す政策へと転換しましたか。 (2026年 宮崎県公立入試 類似)

1. ヨーロッパからの移民のみを無条件で受け入れる単一民族社会	2. アジア系をはじめとする多様な民族の文化を尊重する多文化社会	3. 特定の言語のみを公用語として強制する言語統一社会	4. 近隣の島国からの移民を完全に制限する自国優先社会
---------------------------------	----------------------------------	-----------------------------	-----------------------------

問10 オーストラリアの主要な輸出相手国が、1960年代のイギリスから、近年は中国などのアジア諸国へと変化した背景として最も適切な説明はどれですか。 (2021年 沖縄県公立入試 類似)

1. 東南アジア諸国連合 (ASEAN) に正式に加盟したことで、域内の関税が撤廃され、イギリスに代わってタイやベトナムとの貿易が最優先されたため。	2. 北米自由貿易協定 (NAFTA) の影響でアメリカ合衆国との貿易摩擦が激化し、その対抗策としてイギリスとの関係を断絶したため。	3. イギリスが欧州共同体 (EC) に加盟してオーストラリアとの結びつきが弱まる一方、中国などで工業化が進み、鉄鉱石などの資源需要が高まったため。	4. 白豪主義を維持するためにヨーロッパ諸国との貿易を制限し、地理的に近い日本や中国などのアジア諸国にのみ輸出を限定する政策をとったため。
--	--	--	---

問11 南アメリカに位置するペルーとボリビアの貿易構造について、2012年の統計データを踏まえた説明として正しいものを、次のうちから選びなさい。 (2016年 千葉県公立入試 類似)

1. ペルーとボリビアは、ともに輸出総額の半分以上をコーヒーや大豆などの農産物が占めている。	2. ペルーの輸出第1位の品目は原油であり、ボリビアは銀鉱が輸出の約5割を占めている。	3. ペルーとボリビアは、ともに工業製品の輸出額が鉱産資源の輸出額を大きく上回っている。	4. ペルーの輸出第1位の品目は金であり、ボリビアの輸出第1位の品目は天然ガスである。
--	---	--	---

問12 南アメリカ大陸の太平洋側に位置し、南北に極めて細長い国土を持つ国について、この国が世界最大の産出量を誇り、日本への輸出額の約6割を占めている鉱産資源として正しいものはどれですか。 (2024年 奈良県公立入試 類似)

1. ボーキサイト	2. 銅鉱	3. 原油	4. 鉄鉱石
-----------	-------	-------	--------